

会報

ゆかり

第26号

発行日:2013年6月10日
 発行:鹿児島純心女子短期大学
 同窓会ゆかり会
 〒890-8525 鹿児島市唐湊4-22-1
 TEL・FAX (099)255-7655
 E-mail jyukarikai@yahoo.co.jp
 U R L http://www.geocities.jp/jyukarikai
 編集:ゆかり会事務局



名誉会長
 平山 久美子(学長)



置かれた場所で、喜ばれる人にならしましょう

今年は、冬の寒さが厳しかったせいか、桜の蕾がいつもより早くほころび始め、春の喜びを告げています。このような美しい季節に、明日、卒業式を迎えようとしている皆さん、本日は、ゆかり会へのご入会おめでとうございます。

「ゆかり会」とは、本学の同窓会の名称です。その名称の由来は、本学で学んだゆかり、ご縁に結ばれて卒業後もお互いに助け合い、励ましあっていきたいと思いますとの願いが込められています。

そして毎年、このように卒業式に先立って、「ゆかり会」の役員の方々が、卒業なさる皆さんのために立派な同窓会入会式を開催して下さいます。誠にありがたく、感謝申し上げます。

平成24年度は、「ゆかり会」創立50周年の節目の時にあたりました。この記念すべき年にあたり、ゆかり会会員同士の絆を深め、本学の卒業生である喜びと誇りをわかちあい、これまで以上に地域社会に貢献していく短大であるために、ゆかり会と本学が連携して色々なイベントを企画し実施いたしました。例えば、

(1)昨年の秋、10月中旬～11月中旬に、本学の在学生・卒業生・教職員とファミリーマートが共同してスイーツ「アップルカスタードタルト」を開発し販売いたしました。その商品は卒業生や在学生のみならず街中でも大変好評で、ファミリーマートにとってもヒット商品の一つになったそうです。

(2)11月11日には本学を会場として、「ゆかり会創立50周年記念ホームカミングデイ」を開催いたしました。その内容は3部に分かれており、第1部は記念式典、第2部は社会の各界で活躍なさっておられる5人の卒業生によるパネルディスカッション、第3部は昼食会と見学会でした。約200名の卒業生が懐かしい母校を訪れてくれました。そして「在学生の笑顔と挨拶がとてきれいな」とほめてくださり、発展している母校の姿に大変満足して帰っていかれました。

(3)3月5～7日には、ゆかり会の役員の方と教職員の有志で、純心教育のルーツを訪ねる長崎研修旅行を行いました。大変楽しく、内容豊かな研修の旅でした。

このように、本学の同窓会である「ゆかり会」と本学は、深い連携を保ちながら、お互いの発展と地域社会のために貢献しようとしております。ですから、新しい会員となる皆様もどうぞよろしくお願いたします。

ところで、皆さんは、明日卒業して社会人になっ

た時、学生の時とは全く違う立場になったことに気づかれるでしょう。20歳になったとはいえ、これまでは、本学の学生という身分が、皆さんを守ってきました。しかし、今後はこの社会の中で、一人の責任ある人間として、自分でよく考え、判断し、行動していくことになります。そのような皆さんに私の方からお願いしたいことは、自分が新しく「置かれた場所で、周囲の人から喜ばれる人」となっていたきたいということです。そのためのヒントとして、本学の創立者である江角ヤス先生の次の言葉を皆さんにお贈りしたいと思います。

①「どなたにも 今日一日幸せでありますようにと、心をこめて、にこやかに丁寧におじぎをしましょう。」

②「大事なことは『ありがとう』と『すみません』この二つなのよ。」

③「何かを頼まれた時『できません』でなく『やってみましょう』聖母マリアの謙遜な心で私のまわりの人達を照らす一本の『純心マッチ』となるのです。」

皆さんがこれから置かれた場所で、たとえ失敗しながらでも、周囲の人に信頼され喜ばれる人になっていかれますようお祈りして、私の挨拶とさせていただきます。

(平成24年度 ゆかり会入会式あいさつより)